

令和 8 年 7 月 2 9 日
港湾局 海岸・防災課
海洋・環境課

港湾の広域ネットワークを活用した被災地への支援物資の輸送 ～令和 8 年熊本地震における対応～

熊本地震の被災者を支援するため、国土交通省港湾局では、大型浚渫兼油回収船による給水支援を実施するとともに、堺泉北港堺 2 区基幹的広域防災拠点から飲料水などの支援物資及び夜間対応を可能とする投光器等を運搬します。

1. 支援の概要

7 月 2 8 日に発生した令和 8 年熊本地震に伴う被災地支援のため、政府において「プッシュ型物資支援」を進めているところです。国土交通省港湾局では、大型浚渫兼油回収船 2 隻（清龍丸、白山）による給水支援を実施するとともに、堺泉北港堺 2 区基幹的広域防災拠点から飲料水などの支援物資及び夜間対応を可能とする投光器等を運搬します。

2. 支援船舶の出航予定

船舶名	出発地 出発日時	目的地 到着予定日	主な支援物資
大型浚渫兼油回収船 清龍丸（せいりゅうまる）	名古屋港 29 日（水） 18:00	熊本方面 8 月 1 日（土）	飲料水（約 100 トン（給水車約 33 台分）） ペットボトル（500ml）約 11,000 本相当 食料、タオル 等
大型浚渫兼油回収船 白山（はくさん）	新潟港 29 日（水） 18:30	熊本方面 7 月 31 日（金）	飲料水（約 300 トン（給水車約 100 台分）） 食料、医薬品、衛生用品 等

※出発時の取材については、各地方整備局よりお知らせ致します。
各地方整備局の連絡先は、別添のとおりです。

<問い合わせ先>

国土交通省 港湾局 海岸・防災課 渡邊
TEL:03-5253-8111（内線 46714）直通:03-5253-8688

国土交通省 港湾局 海洋・環境課 佐々木、佐藤
TEL:03-5253-8111（内線 46674, 46673）直通:03-5253-8684

出港地の地方整備局の連絡先

船舶名	出港時の取材等についての問い合わせ先
大型浚渫兼油回収船 清龍丸（せいりゅうまる） <名古屋港>	中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課 課長 西尾 賢二 課長補佐 林 友弥 052-209-6328 <参考>出発場所 名古屋港空見ふ頭フェリーターミナル南側、V3岸壁
大型浚渫兼油回収船 白山（はくさん） <新潟港>	北陸地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 山本 浩司 025-280-8761 <参考>出発場所 新潟港湾・空港整備事務所 白山専用岸壁 新潟市中央区入船町4-3778
堺2区基幹的広域防災拠点 <堺泉北港>	近畿地方整備局 港湾空港部 近畿圏臨海防災センター センター長 千葉 泰三 072-221-7301 <参考>出発場所 近畿圏臨海防災センター 大阪府堺市堺区匠町3-2

令和8年熊本地震に伴う九州地方への 大型浚渫兼油回収船「白山」、「清龍丸」の派遣について

■「白山」の諸元

総トン数 : 4, 185トン
全 長 : 93.9m
全 幅 : 17.0m
基 地 港 : 新潟港（北陸地方整備局所属）



■「清龍丸」の諸元

総トン数 : 4, 792トン
全 長 : 104m
全 幅 : 17.4m
基 地 港 : 名古屋港（中部地方整備局所属）



基幹的広域防災拠点の概要

- 複数の都道府県に被害が及ぶような大規模災害発生時に緊急物資輸送の中継拠点や広域支援部隊のベースキャンプとして機能する基幹的広域防災拠点を東京湾臨海部及び京阪神都市圏に整備。
- 平常時は緑地として市民に開放するが、災害時は国により運用。
- 大規模災害発生に備え、関東及び近畿地整職員が最低1名ずつ、24時間365日体制で常駐している。
- 災害時の運用体制を強化するため、資機材展開・輸送訓練や船舶による緊急物資輸送訓練等を関係機関と協働して実施。

<川崎港東扇島地区(首都圏)>

平成20年4月26日に供用開始



<堺泉北港堺2区(近畿圏)>

平成24年4月1日に供用開始

